

令和 5 年度
鹿児島県循環器病対策推進協議会

< 内容 >

鹿児島県の循環器病の現状について

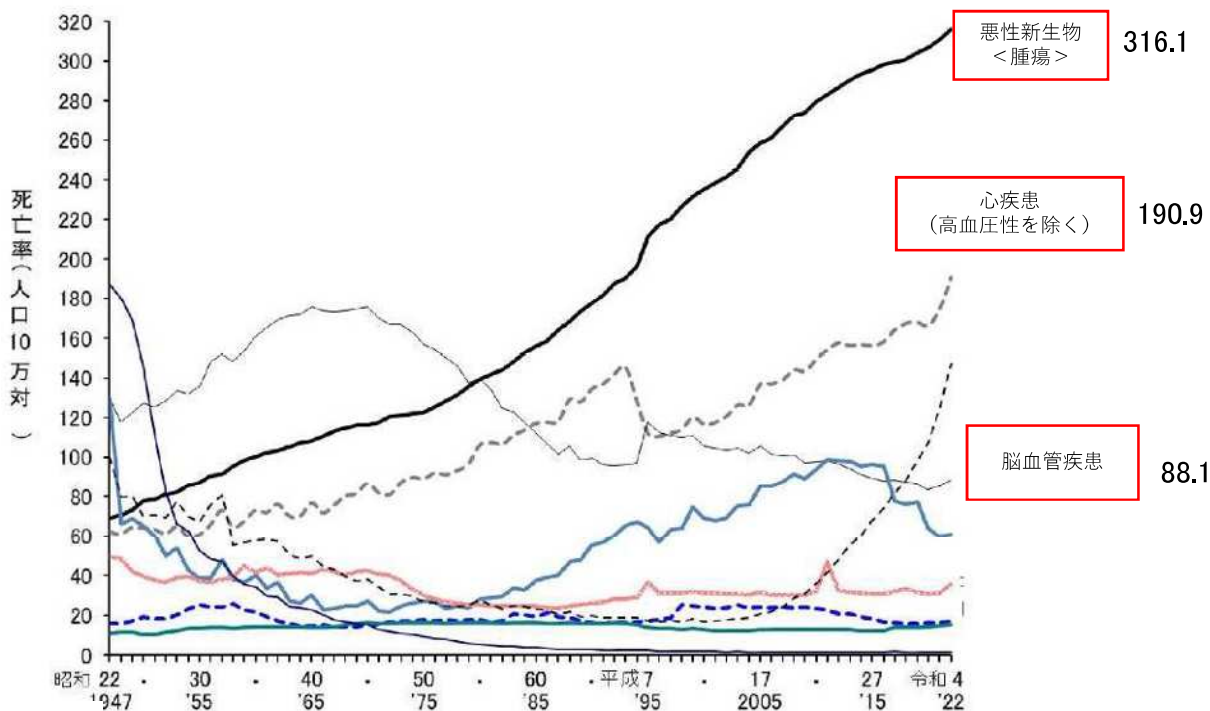


鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課

1 全国の死因の状況（出典：人口動態統計）

(1) 国における死亡率の推移

がん，心疾患は増加傾向にあり，脳血管疾患は減少傾向である。



(2) 国における令和4年の死因の順位

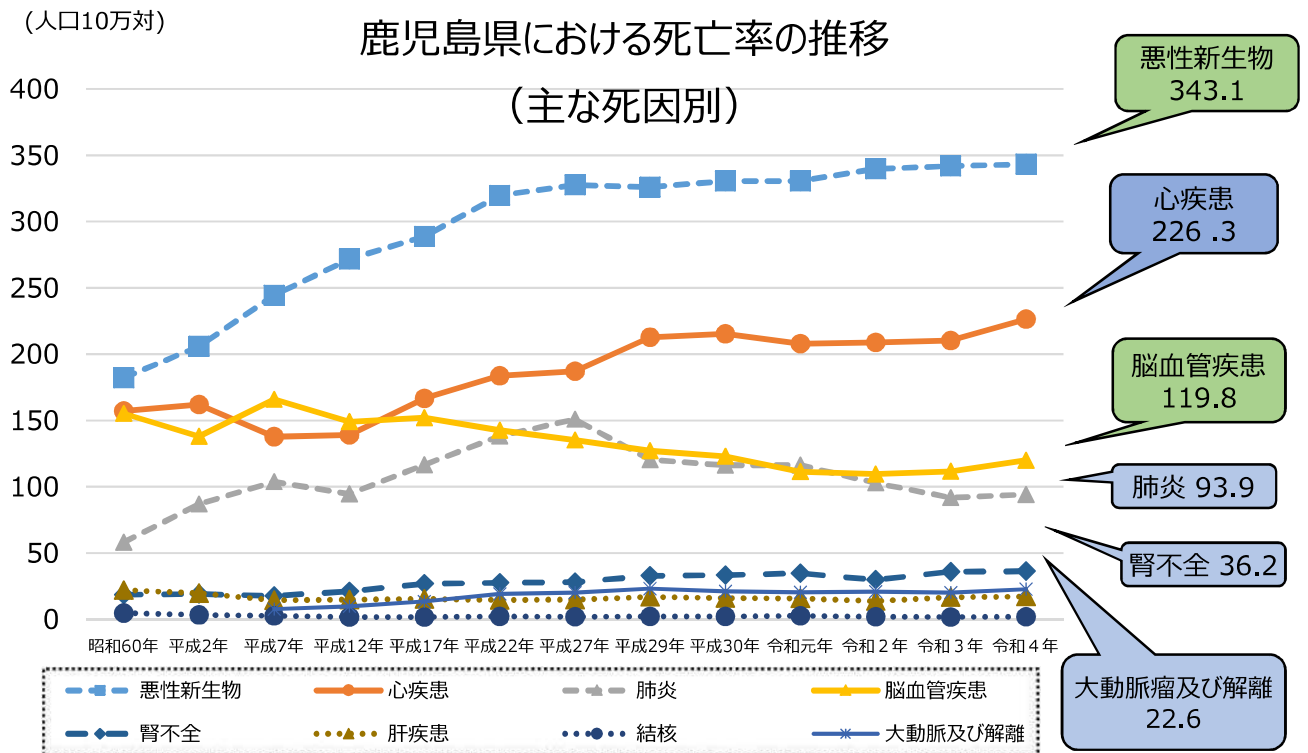
脳血管疾患，心疾患をはじめとする循環器疾患はがんに次いで主な死亡の原因となっている。

死因順位	死因	死亡総数に占める割合
1位	悪性新生物	24.6%
2位	心疾患（高血圧性を除く）	14.8%
3位	老衰	11.4%
4位	脳血管疾患	6.9%
5位	肺炎	4.7%
6位	誤嚥性肺炎	3.6%
7位	不慮の事故	2.8%
8位	腎不全	2.0%
9位	アルツハイマー病	1.6%
10位	血管性及び詳細不明の認知症	1.6%

2 本県の死因の状況（出典：人口動態統計）

(1) 県における死亡率の推移

がん，心疾患は増加傾向にあり，脳血管疾患は減少傾向である。



(2) 県における令和4年の死因の順位

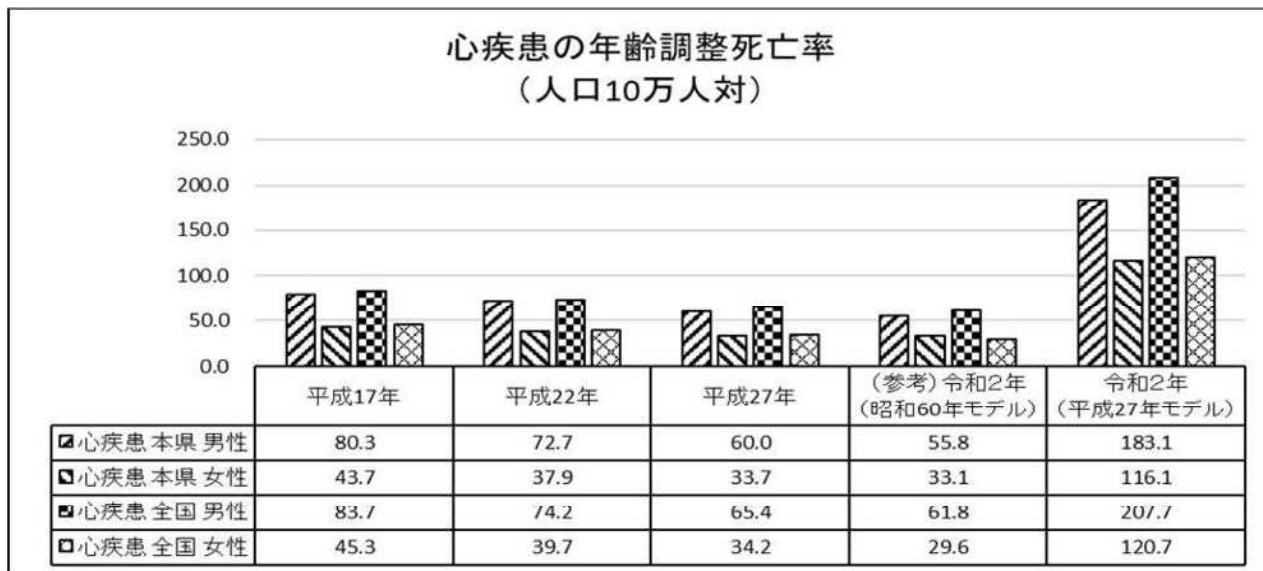
脳血管疾患，心疾患をはじめとする循環器疾患はがんに次いで主な死亡の原因となっており，死亡総数の約4分の1を占める。

死因順位	死因	死亡総数に占める割合
1位	悪性新生物	22.2%
2位	心疾患（高血圧性を除く）	14.7%
3位	老衰	11.4%
4位	脳血管疾患	7.8%
5位	肺炎	6.1%
6位	誤嚥性肺炎	3.7%
7位	不慮の事故	2.9%
8位	腎不全	2.3%
9位	アルツハイマー病	1.8%
10位	大動脈瘤及び解離	1.5%
10位	間質性肺炎	1.5%

3 年齢調整死亡率の推移（出典：人口動態統計）

(1) 心疾患の年齢調整死亡率の推移

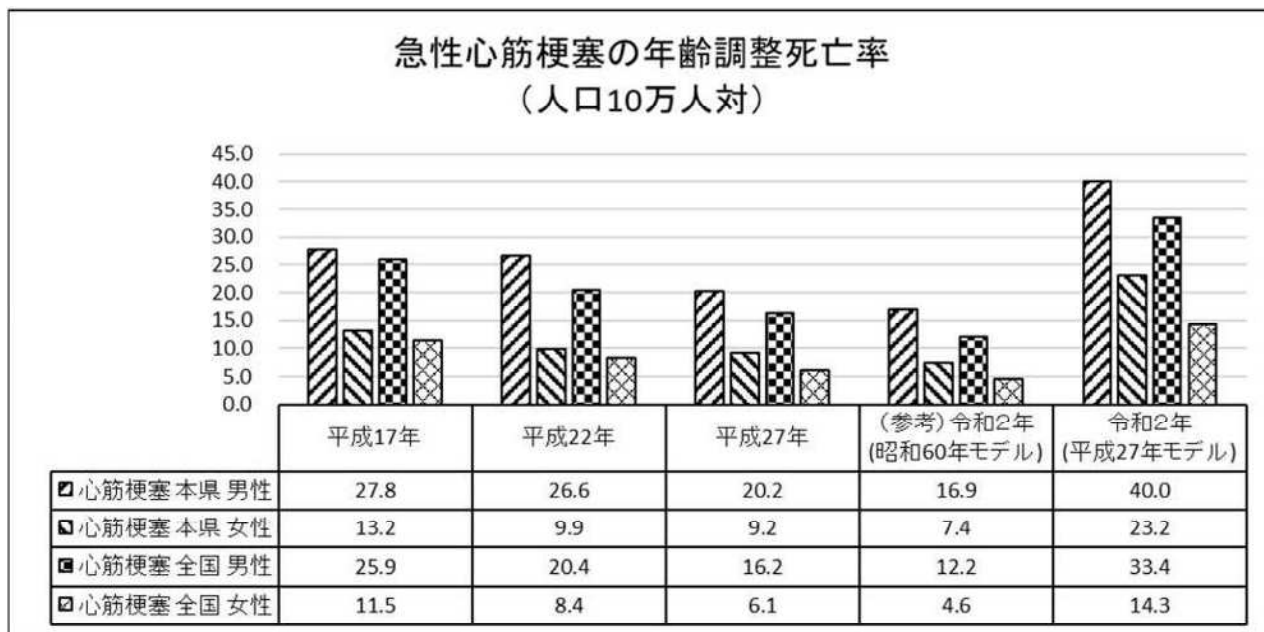
本県の心疾患の年齢調整死亡率は減少傾向であり、男女ともに全国を下回っている。



※ 年齢調整死亡率：厚生労働省では、人口動態統計における年齢調整死亡率の算出にあたっては、平成2年から昭和60年モデル人口（昭和60年の国勢調査人口を基に補正した人口）を使用していたが、モデル人口が現実の人口構成と異なってきたことから、令和2年から平成27年モデル人口（平成27年の国勢調査人口を基に補正した人口）を使用することとしている。図表の平成27年までは、昭和60年モデル人口を使用している。

(2) 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の推移

本県の急性心筋梗塞による年齢調整死亡率は減少傾向であるが、男女ともに全国を上回っている。

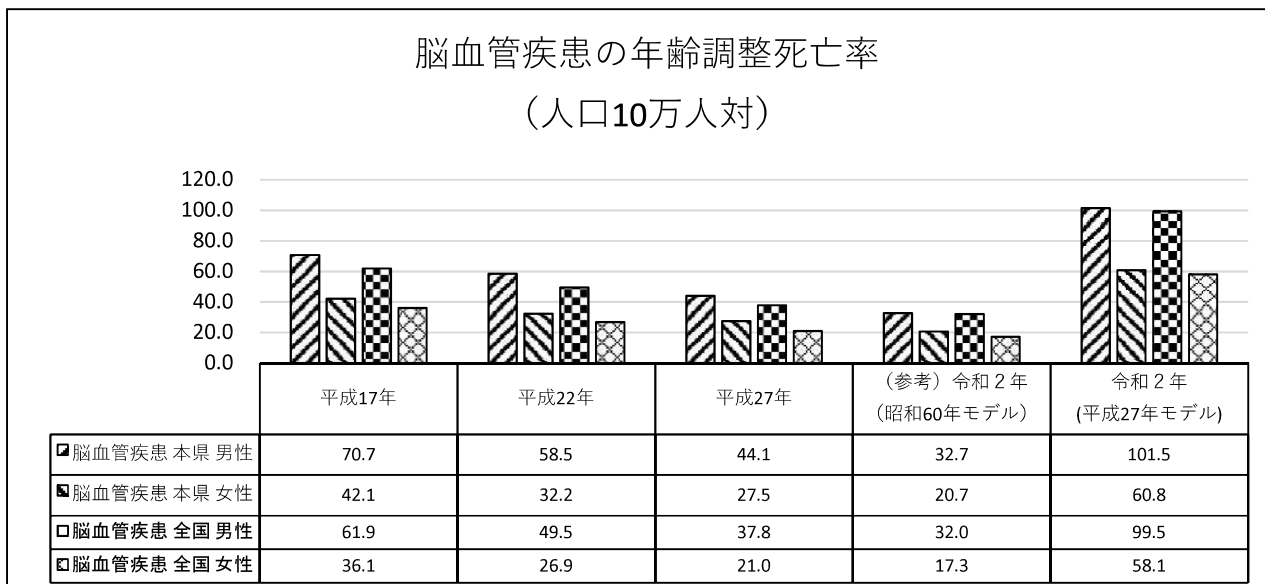


人口動態統計から健康増進課作成

3 年齢調整死亡率の推移

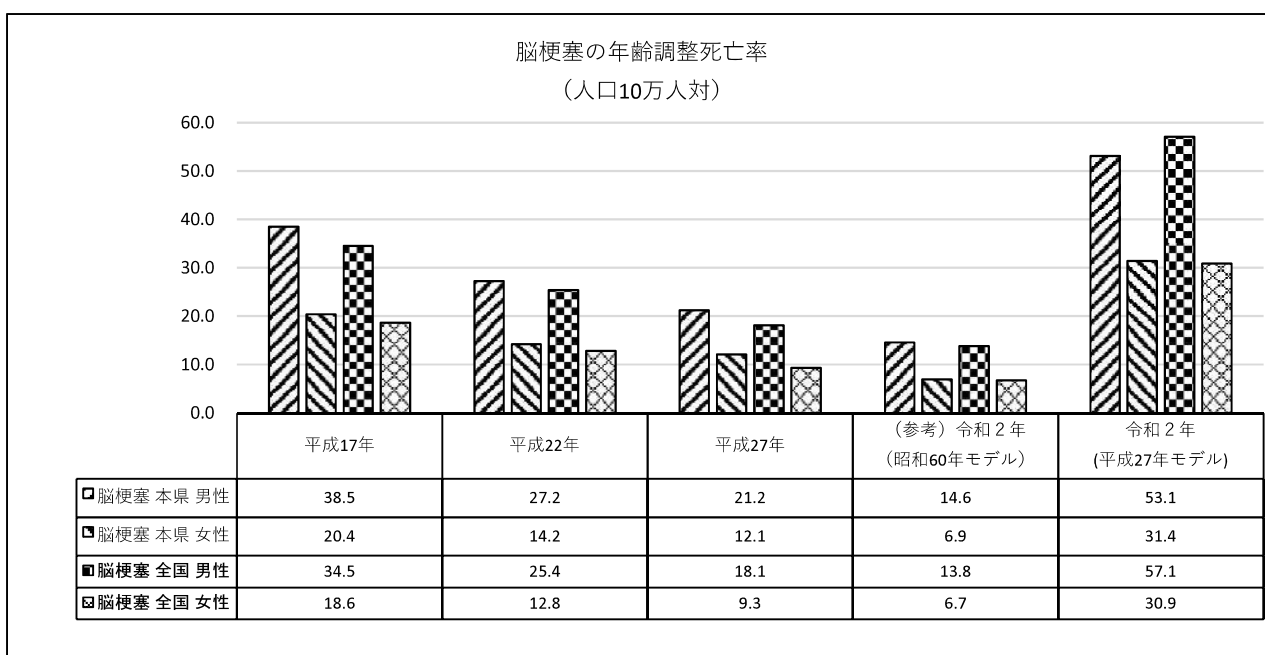
(3) 脳血管疾患の年齢調整死亡率の推移

本県の脳血管疾患の年齢調整死亡率は減少傾向であるが、男女ともに全国を上回っている。



(4) 脳梗塞の年齢調整死亡率の推移

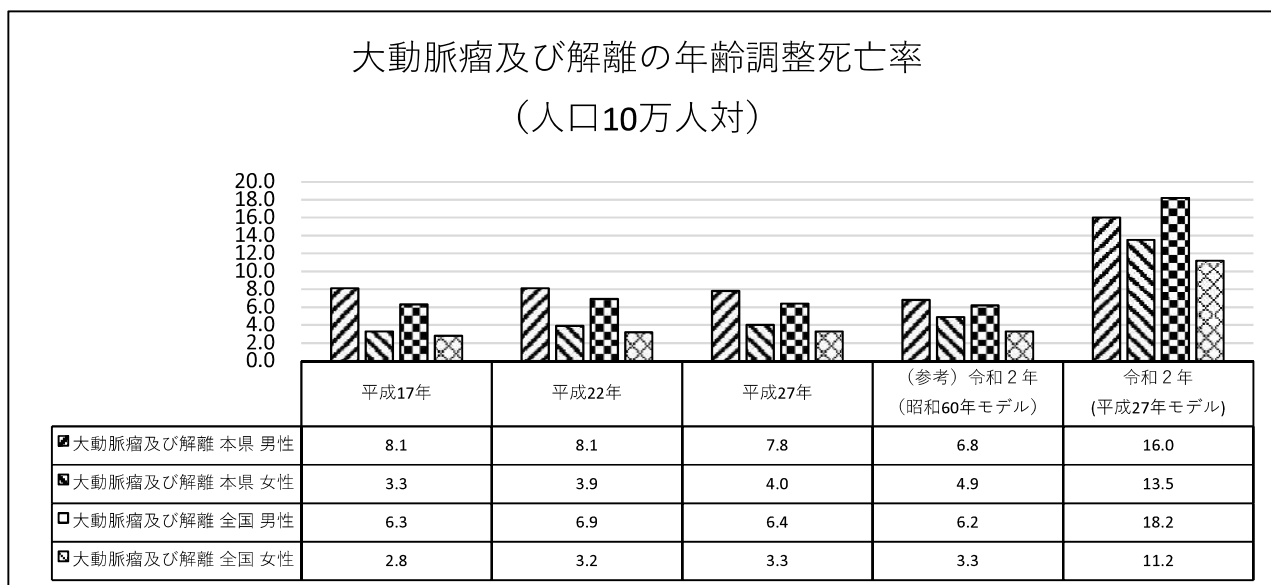
本県の脳梗塞の年齢調整死亡率は減少傾向であるが、男女ともに全国を上回っている。



3 年齢調整死亡率の推移

(5) 大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率の推移

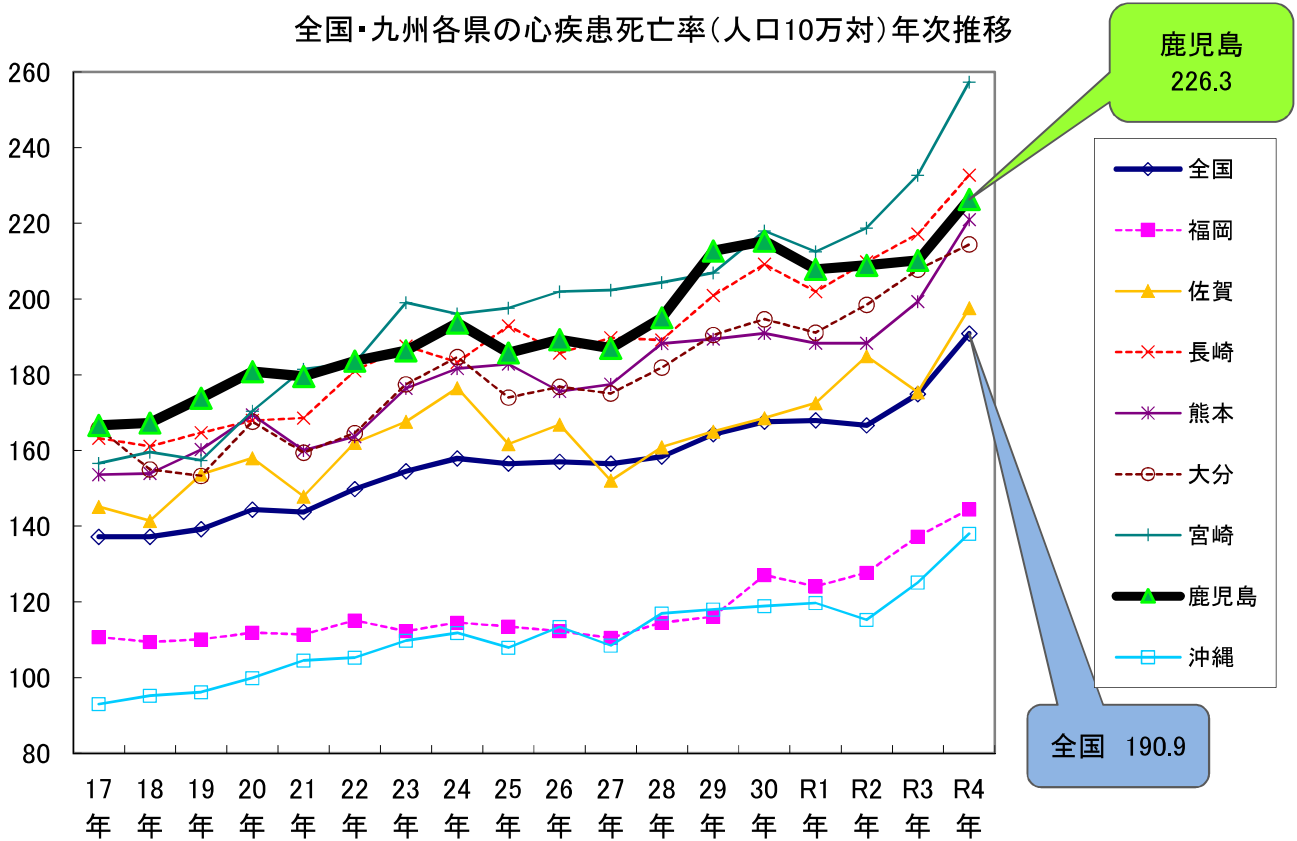
本県の大動脈瘤及び解離年齢調整死亡率は、男性は減少傾向であるが、女性は増加傾向にあり、男女ともに全国を上回っている。



4 心疾患の状況（出典：人口動態統計）

(1) 全国・九州の状況

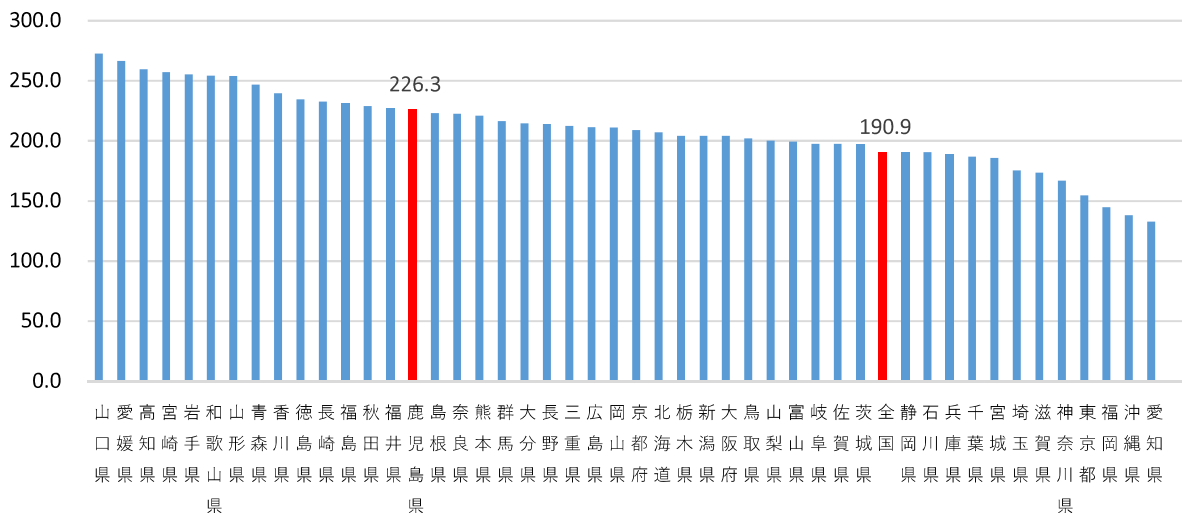
心疾患の死亡率は増加傾向にあり、令和4年の本県の心疾患の死亡率は、九州各県の中で3番目に高くなっている。



都道府県別にみると令和4年の本県の心疾患の死亡率は、ワースト15位となっている。

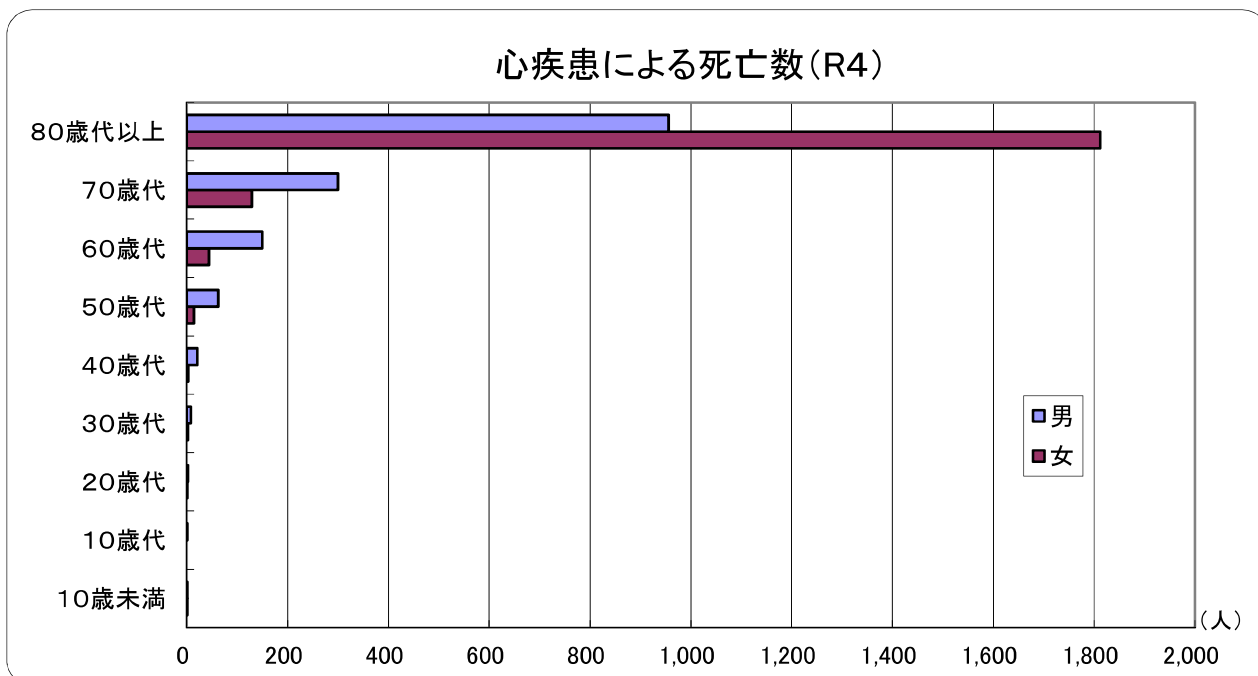
(人口10万対)

都道府県別心疾患死亡率 (R4年)



(2) 本県における心疾患の年齢階級別死亡者数 (R4年)

40～70歳代では男性の死亡者数が多く、80歳代以上では女性の死亡者数が多くなっている。



年齢階級別死亡数(人)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	1	1	2	8	21	62	150	300	956	1,501
女	1	0	1	2	3	14	44	129	1,812	2,006
総数	2	1	3	10	24	76	194	429	2,768	3,507

※ 年齢不詳は含まない。

心疾患による死亡者数の年齢階級別死亡割合(%)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	0.07	0.07	0.13	0.53	1.40	4.13	9.99	19.99	63.69	100.0
女	0.05	0.00	0.05	0.10	0.15	0.70	2.19	6.43	90.33	100.0

※ 年齢不詳は含まない。

出典：人口動態統計

(3) 本県における心疾患の死亡者数の内訳（R4年）（人口動態統計）

心疾患の内訳では、男女とも心不全、急性心筋梗塞、不整脈及び伝導障害の順で多くなっている。

40～64歳未満では、男性では急性心筋梗塞、女性では心不全が多い。

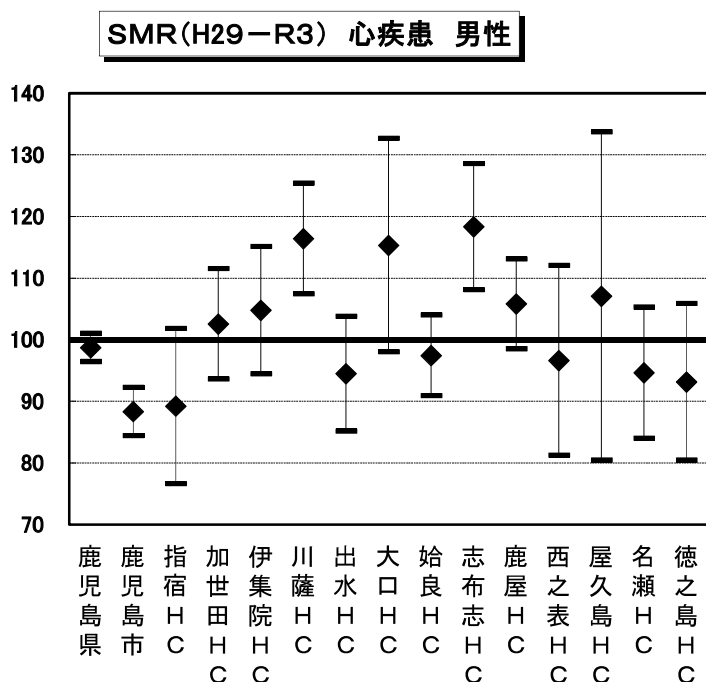
65～84歳未満では、男女ともに急性心筋梗塞と心不全が多い。

	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
男	慢性リウマチ性心疾患	0	2	2	6	10	0.7%
	急性心筋梗塞	2	64	203	124	393	26.2%
	その他の虚血性心疾患	1	19	89	54	163	10.9%
	慢性非リウマチ性心内膜疾患	1	3	24	55	83	5.5%
	心筋症	0	4	12	6	22	1.5%
	不整脈及び伝導障害	4	17	63	94	178	11.9%
	心不全	2	31	195	386	614	40.9%
	その他の心疾患	2	5	24	7	38	2.5%
	合計	12	145	612	732	1501	100.0%

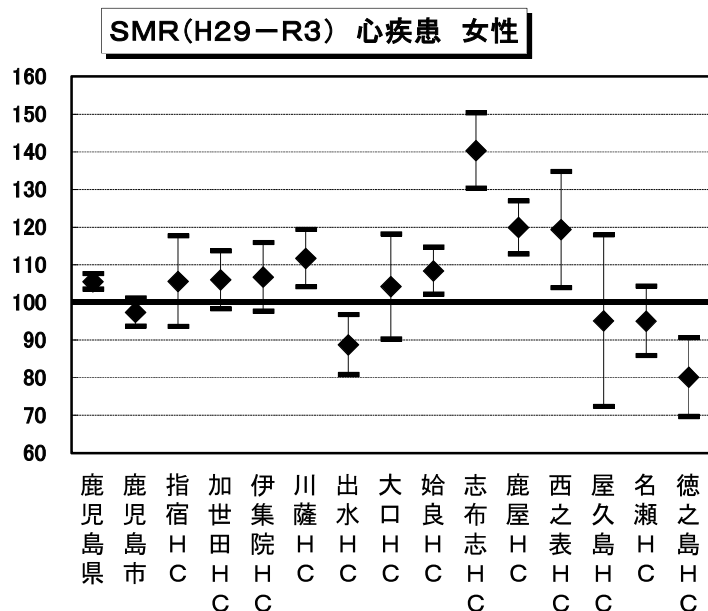
	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
女	慢性リウマチ性心疾患	0	0	7	15	22	1.1%
	急性心筋梗塞	0	12	89	202	303	15.1%
	その他の虚血性心疾患	0	2	32	95	129	6.4%
	慢性非リウマチ性心内膜疾患	0	1	21	157	179	8.9%
	心筋症	0	1	10	15	26	1.3%
	不整脈及び伝導障害	2	5	46	180	233	11.6%
	心不全	1	15	124	940	1080	53.8%
	その他の心疾患	1	2	8	23	34	1.7%
	合計	4	38	337	1627	2006	100.0%

(4) 心疾患の標準化死亡比（SMR）平成29年～令和3年

本県の心疾患のSMRは、男性は全国と同程度であり、女性は全国より高い。



市町村名 県, 保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	101.0	98.7	96.4
鹿児島市	92.2	88.3	84.4
指宿HC	101.8	89.2	76.6
加世田HC	111.5	102.5	93.6
伊集院HC	115.1	104.7	94.4
川薩HC	125.4	116.4	107.4
出水HC	103.8	94.5	85.1
大口HC	132.7	115.3	98.0
始良HC	104.0	97.4	90.9
志布志HC	128.6	118.3	108.1
鹿屋HC	113.1	105.8	98.5
西之表HC	112.0	96.6	81.2
屋久島HC	133.7	107.1	80.4
名瀬HC	105.3	94.6	84.0
徳之島HC	105.9	93.1	80.4



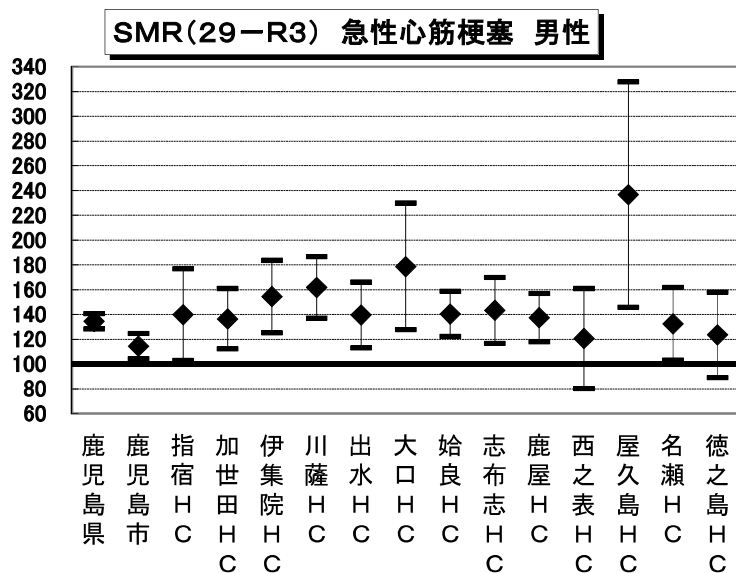
市町村名 県, 保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	107.6	105.5	103.4
鹿児島市	101.1	97.4	93.6
指宿HC	117.6	105.6	93.6
加世田HC	113.7	105.9	98.2
伊集院HC	115.8	106.7	97.6
川薩HC	119.3	111.7	104.1
出水HC	96.7	88.7	80.7
大口HC	118.1	104.2	90.2
始良HC	114.6	108.4	102.1
志布志HC	150.3	140.3	130.3
鹿屋HC	126.9	119.9	112.9
西之表HC	134.7	119.3	103.9
屋久島HC	117.8	95.1	72.3
名瀬HC	104.3	95.0	85.8
徳之島HC	90.6	80.1	69.6

SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

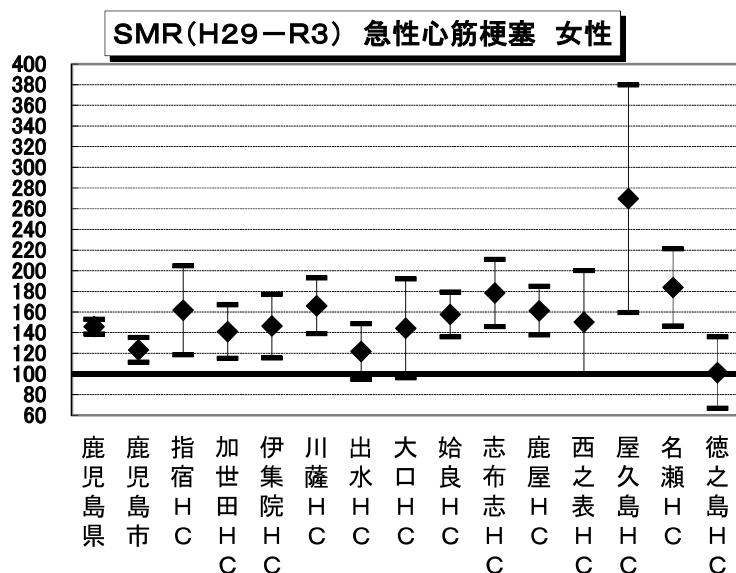
資料：健康増進課作成

(5) 急性心筋梗塞の標準化死亡比（SMR）平成29年～令和3年

本県の急性心筋梗塞のSMRは、男女ともに全国より高い。



市町村名	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	140.5	134.3	128.0
鹿児島市	124.5	114.2	104.0
指宿HC	176.6	139.7	102.8
加世田HC	160.7	136.4	112.1
伊集院HC	183.4	154.2	125.0
川薩HC	186.5	161.6	136.7
出水HC	166.0	139.5	112.9
大口HC	229.6	178.6	127.5
始良HC	158.5	140.3	122.1
志布志HC	169.6	143.1	116.6
鹿屋HC	156.8	137.3	117.8
西之表HC	160.8	120.4	79.9
屋久島HC	327.7	236.7	145.7
名瀬HC	161.7	132.3	103.0
徳之島HC	157.9	123.3	88.8



市町村名	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	153.0	145.8	138.7
鹿児島市	135.4	123.4	111.3
指宿HC	204.8	161.7	118.5
加世田HC	167.0	141.1	115.2
伊集院HC	177.3	146.4	115.4
川薩HC	192.9	166.0	139.0
出水HC	148.7	121.7	94.7
大口HC	191.9	144.2	96.4
始良HC	179.2	157.6	136.0
志布志HC	211.1	178.4	145.8
鹿屋HC	184.8	161.3	137.8
西之表HC	200.0	150.2	100.5
屋久島HC	379.8	269.6	159.4
名瀬HC	221.0	183.7	146.3
徳之島HC	135.9	101.4	66.8

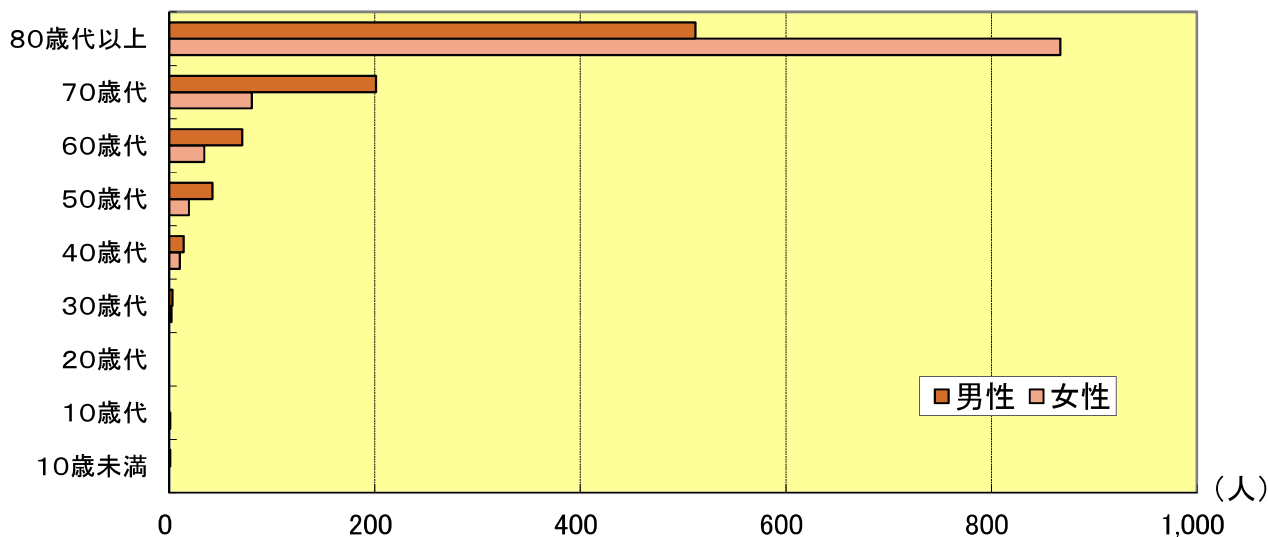
SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

資料：健康増進課作成

(2) 本県における脳血管疾患の年齢階級別死亡者数

40～70歳代では男性の死亡者数が多く、80歳代以上では女性の死亡者数が多くなっている。

脳血管疾患による死亡数(R4)



年齢階級別死亡数(人)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	1	0	0	3	14	42	71	201	512	844
女	0	1	0	2	10	19	34	80	867	1013
総数	1	1	0	5	24	61	105	281	1,379	1,857

※ 年齢不詳は含まない。

年齢階級別死亡割合(%)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	0.12	0.00	0.00	0.36	1.66	4.98	8.41	23.82	60.66	100.00
女	0.00	0.10	0.00	0.20	0.99	1.88	3.36	7.90	85.59	100.00

※ 年齢不詳は含まない。

出典：人口動態統計

(3) 本県における脳血管疾患の死亡者数の内訳（R4年）（人口動態統計）

- 脳血管疾患の内訳では、男女とも脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血の順が多い。
- 40～64歳未満では、男性では脳内出血、女性ではくも膜下出血の人数が多い。
- 65～84歳未満では、男女ともに脳梗塞と脳内出血の人数が多い。

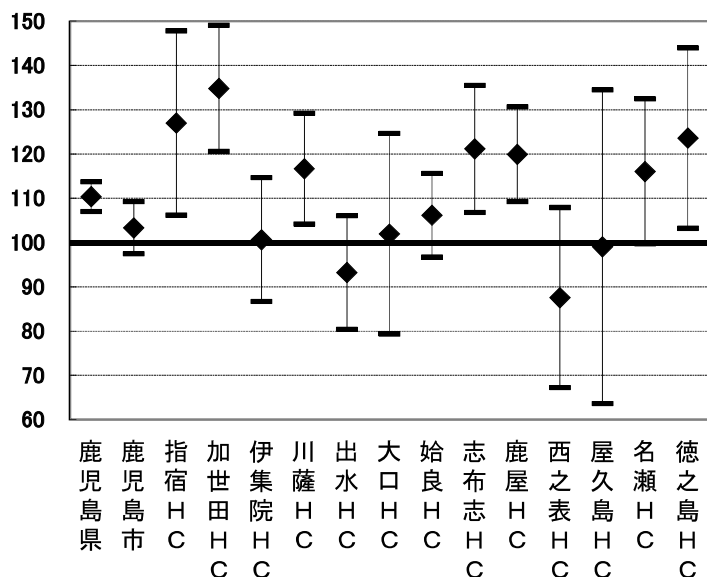
男	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
	くも膜下出血	0人	19人	35人	6人	60人	7.1%
	脳内出血	3人	40人	150人	79人	272人	28.8%
	脳梗塞	0人	15人	202人	267人	484人	57.3%
	その他の脳血管疾患	1人	3人	12人	12人	28人	3.3%
	合計	4人	77人	399人	364人	844人	100.0%

女	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
	くも膜下出血	2人	25人	51人	44人	122人	12.0%
	脳内出血	0人	13人	82人	155人	250人	24.6%
	脳梗塞	0人	4人	94人	524人	622人	61.2%
	その他の脳血管疾患	0人	2人	7人	14人	23人	2.3%
	合計	2人	44人	234人	737人	1017人	100.0%

(4) 脳血管疾患の標準化死亡比（SMR）平成29年～令和3年

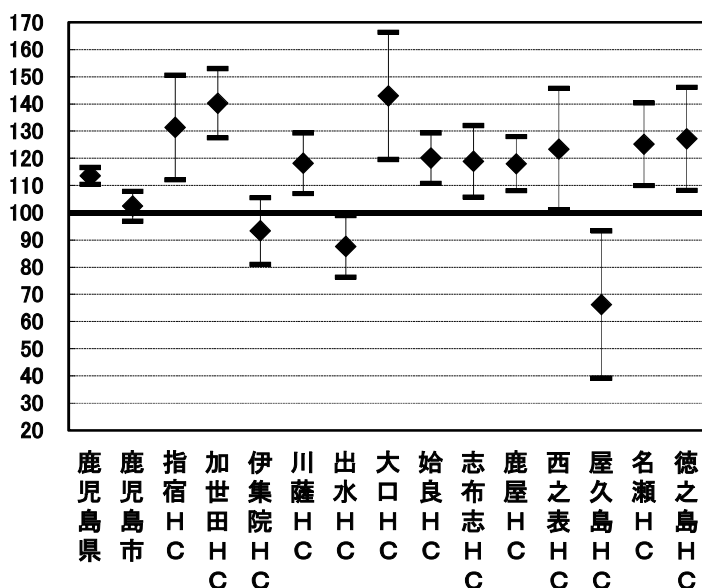
本県の脳血管疾患のSMRは、男女ともに全国より高い。

SMR(H29-R3) 脳血管疾患 男性



市町村名 県, 保健所	上限 SMR	下限 SMR
鹿児島県	113.7	107.0
鹿児島市	109.1	97.4
指宿HC	147.8	106.1
加世田HC	149.0	120.5
伊集院HC	114.6	86.6
川薩HC	129.1	104.1
出水HC	106.0	80.4
大口HC	124.5	79.3
始良HC	115.5	96.6
志布志HC	135.5	106.7
鹿屋HC	130.6	109.1
西之表HC	107.9	67.2
屋久島HC	134.4	63.5
名瀬HC	132.4	99.7
徳之島HC	143.9	103.1

SMR(H29-R3) 脳血管疾患 女性



市町村名 県, 保健所	上限 SMR	下限 SMR
鹿児島県	116.7	110.5
鹿児島市	107.9	97.0
指宿HC	150.6	112.2
加世田HC	153.0	127.6
伊集院HC	105.5	81.1
川薩HC	129.4	107.1
出水HC	99.0	76.3
大口HC	166.4	119.6
始良HC	129.4	110.8
志布志HC	132.0	105.7
鹿屋HC	128.0	108.1
西之表HC	145.8	101.1
屋久島HC	93.3	39.2
名瀬HC	140.4	110.1
徳之島HC	146.2	108.3

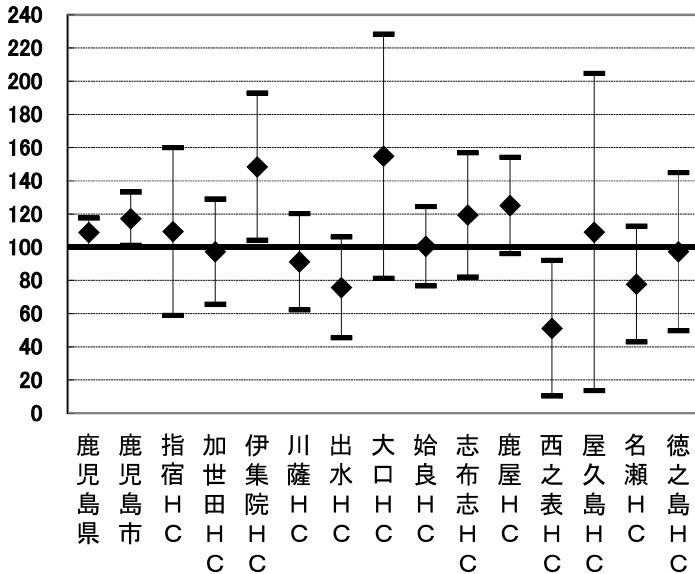
SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

資料：健康増進課作成

6 糖尿病の標準化死亡比（SMR）平成29年～令和3年

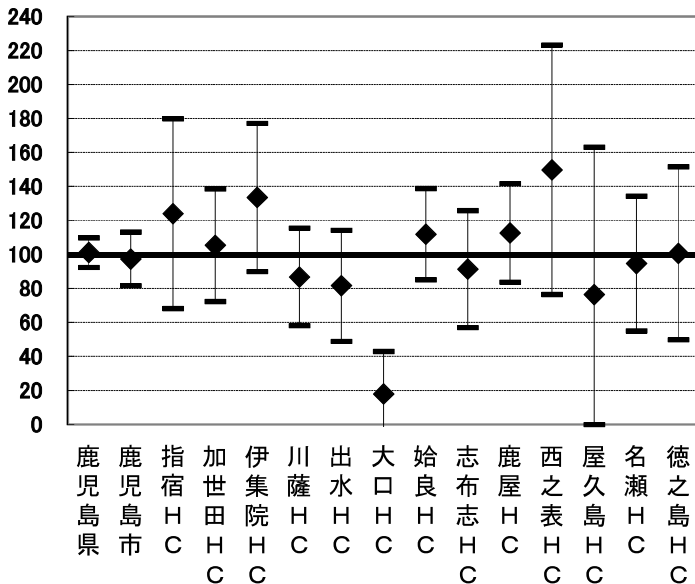
本県の糖尿病のSMRは、男女ともに全国より高い。

SMR(H29-R3) 糖尿病 男性



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	117.4	108.7	100.0
鹿児島市	133.1	117.0	101.0
指宿HC	159.9	109.4	58.8
加世田HC	128.9	97.1	65.4
伊集院HC	192.6	148.3	104.0
川薩HC	120.1	91.1	62.1
出水HC	105.9	75.6	45.4
大口HC	228.3	154.7	81.2
始良HC	124.3	100.5	76.6
志布志HC	156.8	119.3	81.9
鹿屋HC	153.9	125.0	96.1
西之表HC	92.0	51.1	10.2
屋久島HC	204.5	109.0	13.5
名瀬HC	112.5	77.6	42.7
徳之島HC	144.8	97.2	49.6

SMR(H29-R3) 糖尿病 女性



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	109.8	101.1	92.3
鹿児島市	113.2	97.4	81.7
指宿HC	179.8	124.0	68.3
加世田HC	138.6	105.5	72.4
伊集院HC	177.1	133.5	89.9
川薩HC	115.5	86.8	58.0
出水HC	114.3	81.6	49.0
大口HC	43.0	18.0	0
始良HC	138.7	111.9	85.1
志布志HC	125.9	91.4	56.9
鹿屋HC	141.6	112.6	83.7
西之表HC	223.2	149.8	76.4
屋久島HC	163.2	76.6	0
名瀬HC	134.3	94.7	55.1
徳之島HC	151.6	100.7	49.7

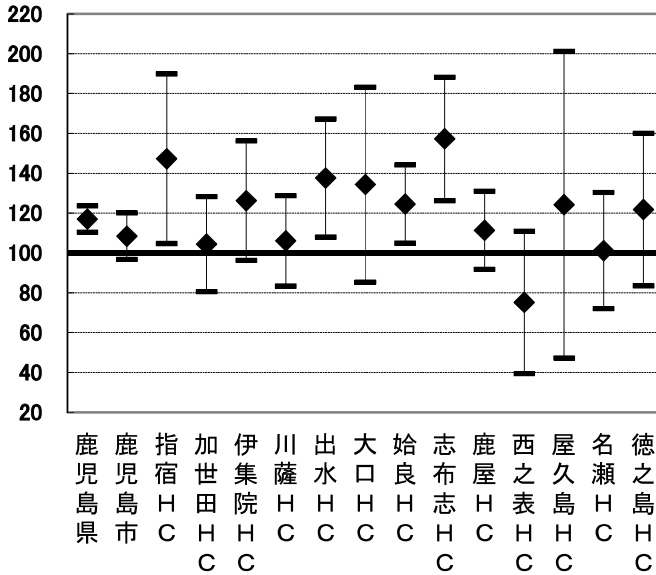
SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

資料：健康増進課作成

7 腎不全の標準化死亡比（SMR）平成29年～令和3年

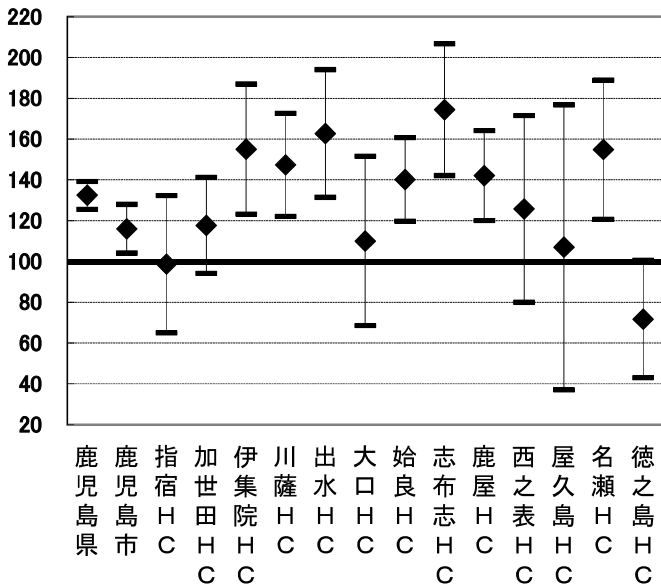
本県の腎不全のSMRは、男女ともに全国より高い。

SMR(H29-R3) 腎不全 男性



市町村名 県, 保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	123.7	117.1	110.5
鹿児島市	120.1	108.4	96.8
指宿HC	189.9	147.3	104.7
加世田HC	128.2	104.4	80.6
伊集院HC	156.3	126.3	96.2
川薩HC	128.7	106.1	83.4
出水HC	167.3	137.6	108.0
大口HC	183.3	134.4	85.5
始良HC	144.2	124.5	104.9
志布志HC	188.2	157.2	126.3
鹿屋HC	131.0	111.4	91.8
西之表HC	111.0	75.2	39.5
屋久島HC	201.3	124.3	47.2
名瀬HC	130.5	101.2	72.0
徳之島HC	160.0	121.8	83.6

SMR(H29-R3) 腎不全 女性



市町村名 県, 保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	139.3	132.5	125.6
鹿児島市	127.9	116.1	104.2
指宿HC	132.3	98.7	65.0
加世田HC	141.2	117.7	94.2
伊集院HC	187.0	155.1	123.2
川薩HC	172.6	147.4	122.2
出水HC	194.0	162.7	131.5
大口HC	151.5	110.0	68.5
始良HC	160.7	140.2	119.7
志布志HC	206.7	174.4	142.1
鹿屋HC	164.1	142.0	120.0
西之表HC	171.5	125.8	80.0
屋久島HC	176.8	107.0	37.1
名瀬HC	189.0	154.9	120.7
徳之島HC	100.5	71.8	43.1

SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

資料：健康増進課作成

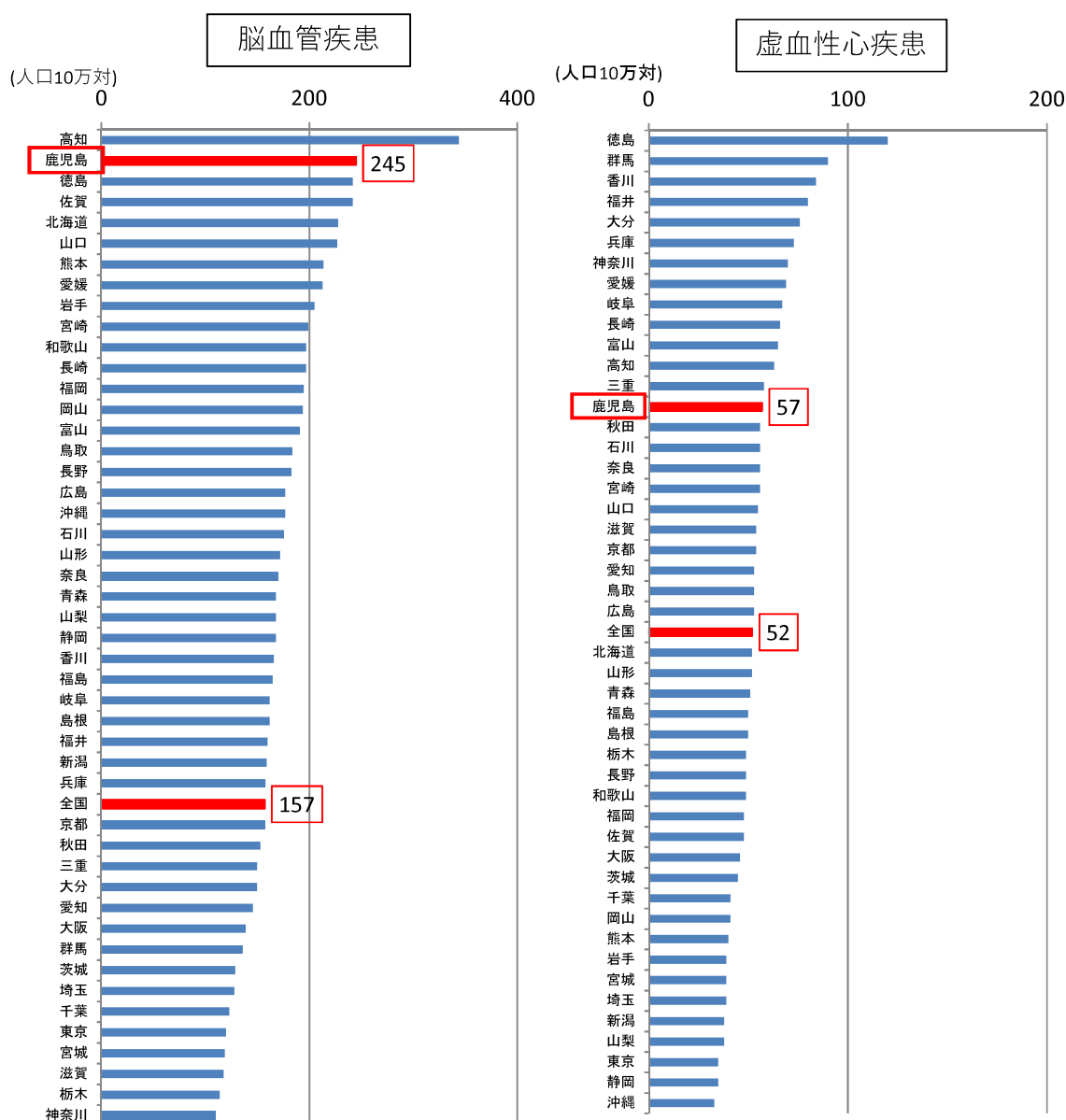
8 患者調査による受療率（人口10万対）（外来・入院総数）

本県の脳血管疾患の受療率は減少しているが、全国より高い。
 虚血性心疾患の受療率は、平成29年に増加したものの減少傾向にあるが、全国より高い。

本県の受療率（人口10万対）推移

	H23年	H26年	H29年	R2年
脳血管疾患	407	385	310	245
虚血性心疾患	94	91	148	57

令和2年都道府県別の受療率順位（人口10万対）



出典：患者調査

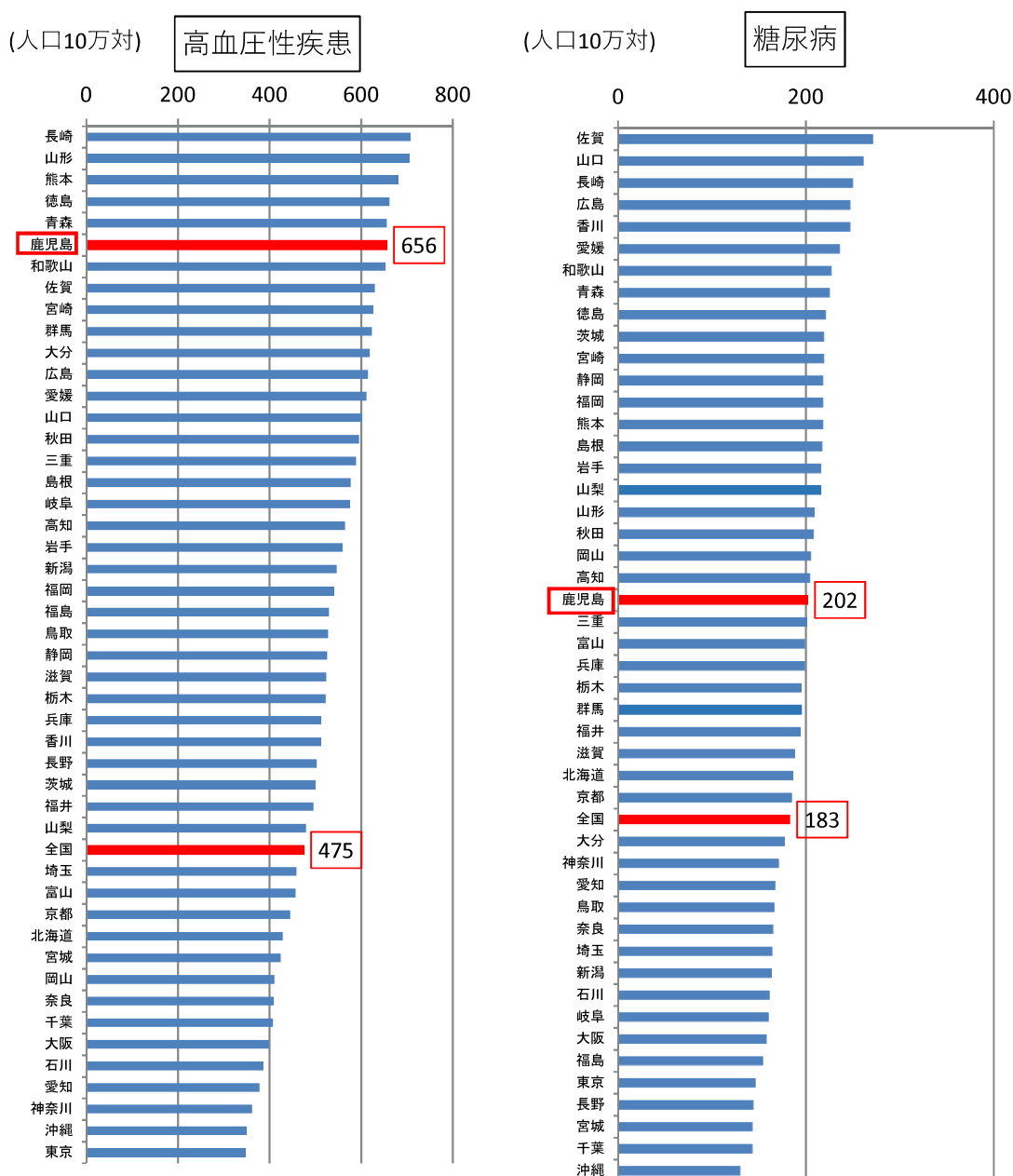
8 患者調査による受療率（人口10万対）（外来・入院総数）

本県の高血圧性疾患の受療率は平成26年以降減少傾向にあるが、全国より高い。糖尿病の受療率は平成29年まで増加傾向にあったが、令和2年は減少しているが、全国より高い。

本県の受療率（人口10万対）推移

	H23年	H26年	H29年	R2年
高血圧性疾患	729	841	761	656
糖尿病	175	273	283	202

令和2年都道府県別の受療率順位（人口10万対）



出典：患者調査